

令和8年度こまき巡回バス再編に係る基本方針(案)

■運行目的

公共交通による市民の移動手段の確保

民間交通機関と合わせて、市内の交通空白地域の解消を図り、市民の暮らしを支えるとともに、外出機会の増加を促します。

■再編に係る課題整理

公共交通を取り巻く社会情勢に関する課題

- ✓運転手不足
- ✓燃料費、人件費の高騰

経済性に関する課題

- ✓運行負担金の増加
- ✓収支率の低下

現在のこまくるの運行に関する課題

- ✓利用者数の少ない路線、便
- ✓乗り継ぎの不便さ

■再編のテーマ

公共交通を取り巻く社会情勢や経済性、現在の運行に関する課題に対応するため、運行体制やルート・ダイヤなどのサービス水準など、再編を実施するうえでのテーマを以下のとおり設定しました。

再編のテーマ

1. 持続可能なサービスの提供

2. 利便性の確保

運行体制の方針

1. 運転手不足を踏まえ、運行体制を見直します

現在、23路線17台を1日あたり34人(1台あたり2人体制)の運転手で運行していますが、一部路線(※)において、1台あたり1人体制とし、1日あたり24人程度の運転手で運行可能な体制に見直します。

これにより、運行経費を削減することができます。

また、1台あたり1人体制の運転手で運行する路線は、国の「自動車運転者の労働時間等の改善のための基準」に定められた運転時間に適合する運行時間帯とします。

※5小牧原線、H1舟津線、H2三ツ淵北線、H3村中線、H5春日寺線、A1田県線、A2久保一色線、A3岩崎原線、T1篠岡光ヶ丘線、T2城山大草線、T3池之内上末線、T4高根線

ルート・ダイヤ等に関する方針

1. 乗り継ぎの不便さを解消します

乗り継ぎの不便さを解消するため、一部路線(※)において、小牧駅及び小牧市民病院まで延伸し、乗り継ぎなしで移動できるようなルート設定します。

これにより、小牧駅～小牧市民病院～小牧市役所をピストン運行する「1小牧駅市役所線」を廃止します。

※2河内屋線、4市之久田線、5小牧原線、6岩崎線、7桃花台線、H1舟津線、H2三ツ淵北線、H3村中線、H5春日寺線、H6多気線

2. 利用しやすいルートにします

主要拠点への延伸や近隣市町との連携強化、交通空白地域の解消など、一部路線(※)の統合やルートの見直しを行い、さらなる利便性の向上を図ります。

※2河内屋線、3藤島線、4市之久田線、5小牧原線、12文津線、H1舟津線、H2三ツ淵北線、H3村中線、H4間々原線、H6多気線、A2久保一色線、A3岩崎原線、T1篠岡光ヶ丘線、T4高根線

3. 利用しやすいダイヤにします

乗り継ぎを考慮したダイヤ設定とする他、小牧駅～小牧市民病院～小牧市役所間の平準ダイヤの維持、定時性向上に向けたダイヤ設定とします。